# 令和７年度の振り返り

資料３

R5設定の「3つの方向性」を具体化するための取組

## 1 学校部活動としての活動量・内容の見直し

〇「佐賀モデル」を市内全18中学校試行
〇佐賀市学校部活動及び地域クラブ活動基本方針の策定

## 2 “地域型クラブ”の立ち上げ・運営に対する支援

〇「地域型クラブ（学校部活動母体・プロ団体運営）」の実証事業
〇佐賀市認定地域クラブ活動の認定に関する要綱の策定

## 3 多様なクラブ・スクール活動への生徒参加の円滑化

〇選択肢の“見える化”

# 令和７年度の振り返り

R5設定の「3つの方向性」を具体化するための取組の成果と課題

## 1 学校部活動としての活動量・内容の見直し

〇生徒の主体性の高まり、教職員の負担軽減（アンケート）
〇関係団体説明会等での広報による周知
△佐賀モデルの理解度と運用の差（時間短縮≠目的、技術低下）
△指導者のファシリテートの理解不足

## 2 “地域型クラブ”の立ち上げ・運営に対する支援

〇地域クラブ設立・運営ノウハウの蓄積
△財源確保・事故やトラブル対応への不安感
△吹奏楽部の地域展開における課題解決

## 3 多様なクラブ・スクール活動への生徒参加の円滑化

△多様なクラブ・スクール活動を増やす
△多様なクラブ・スクール活動の選択肢の見える化

# 令和８年度の取組

## R5設定の「3つの方向性」を具体化するための取組

### ① 学校部活動としての活動量・内容の見直し

**・佐賀モデル**

| | | |
|---|---|---|
| ①生徒の主体性を育む指導 | → | ・指導に関わるマニュアルの作成 |
| ②佐賀モデルの周知 | → | ・部活動地域展開会議だよりの発行<br>・佐賀モデルパンフレットの活用<br>・各種会議・研修会での広報<br>・各種媒体を活用した広報 |

### ② “地域型クラブ”の立ち上げ・運営に対する支援

**・認定地域クラブ認定**

| | | |
|---|---|---|
| ③認定に向けた申請手続き対応<br>④指導者の質確保<br>⑤認定要綱の周知 | → | ・認定地域クラブ立ち上げ支援<br>・指導者研修会の実施(市教委主催)<br>・認定地域クラブ活動パンフレットの活用 |

**・実証事業**

| | | |
|---|---|---|
| ⑥立ち上げ、自走のための検証 | → | ・認定地域クラブ拡充 |

### ③ 多様なクラブ・スクール活動への生徒参加の円滑化

| | | |
|---|---|---|
| ⑦多様な選択肢の創出と“見える化” | → | ・HPに認定地域クラブ活動一覧表の掲載 |

# 方向性 1 学校部活動としての活動量・内容の見直し（佐賀モデル）

## ①生徒の主体性を育む指導

【目的】現在の学校部活動の適正化
生徒が「**より主体的に**」、 **適切な時間**（**週8時間**程度）で活動し、
**より良い、文化・スポーツ活動を実現すること**

update

### 具体的な取組

**マニュアル化**

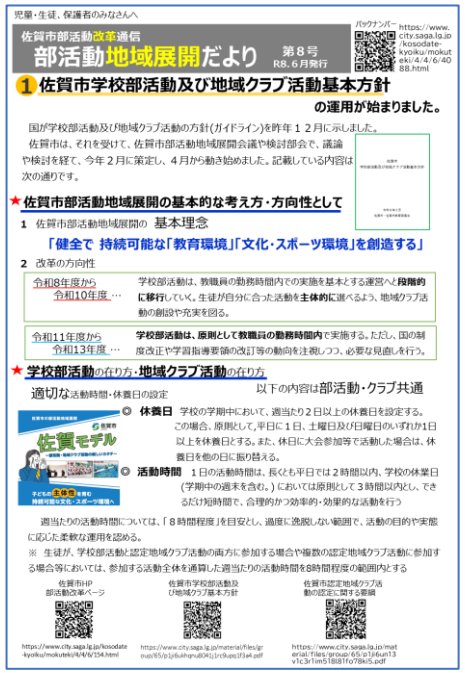
| | | |
|---|---|---|
| STEP 01 | ミーティング 合意形成 | 【学校（顧問）】<br>・生徒主体で、自分たちで決めたい内容を決定　（部活単位）<br>・生徒主体で、練習計画等を作成　（部活単位） |
| STEP 02 | 実　践 | 【学校（顧問）】<br>・練習内容を主体的に決定<br>・週あたり8時間程度で活動 |
| STEP 03 | 検　証 | 【市教委・学校】<br>・事後アンケートの実施、結果のフィードバック<br>・子どもの声をもとに佐賀モデルの改善 |

# 方向性 1 学校部活動としての活動量・内容の見直し（佐賀モデル）

## ②佐賀モデルの周知

### ①佐賀市部活動地域展開だより

小学校4～6年生、中学校１・２年生
保護者に学校からメール配信


児童・生徒、保護者のみなさんへ

佐賀市部活動改革通信
部活動地域展開だより 第8号 R8.6月発行

1 佐賀市学校部活動及び地域クラブ活動基本方針の運用が始まりました。

国が学校部活動及び地域クラブ活動の方針(ガイドライン)を昨年１２月に示しました。
佐賀市は、それを受けて、佐賀市部活動地域展開会議や検討部会で、議論や検討を経て、今年２月に策定し、４月から動き始めました。記載している内容は次の通りです。

★佐賀市部活動地域展開の基本的な考え方・方向性として

1 佐賀市部活動地域展開の 基本理念
「健全で 持続可能な「教育環境」「文化・スポーツ環境」を創造する」

2 改革の方向性
令和8年度から 令和10年度… 学校部活動は、教職員の勤務時間内での実施を基本とする運営へと段階的に移行していく。生徒が自分に合った活動を主体的に選べるよう、地域クラブ活動の創設や充実を図る。
令和11年度から 令和13年度… 学校部活動は、原則として教職員の勤務時間内で実施する。ただし、国の制度改正や学習指導要領の改訂等の動向を注視しつつ、必要な見直しを行う。

★学校部活動の在り方・地域クラブ活動の在り方
適切な活動時間・休養日の設定 以下の内容は部活動・クラブ共通

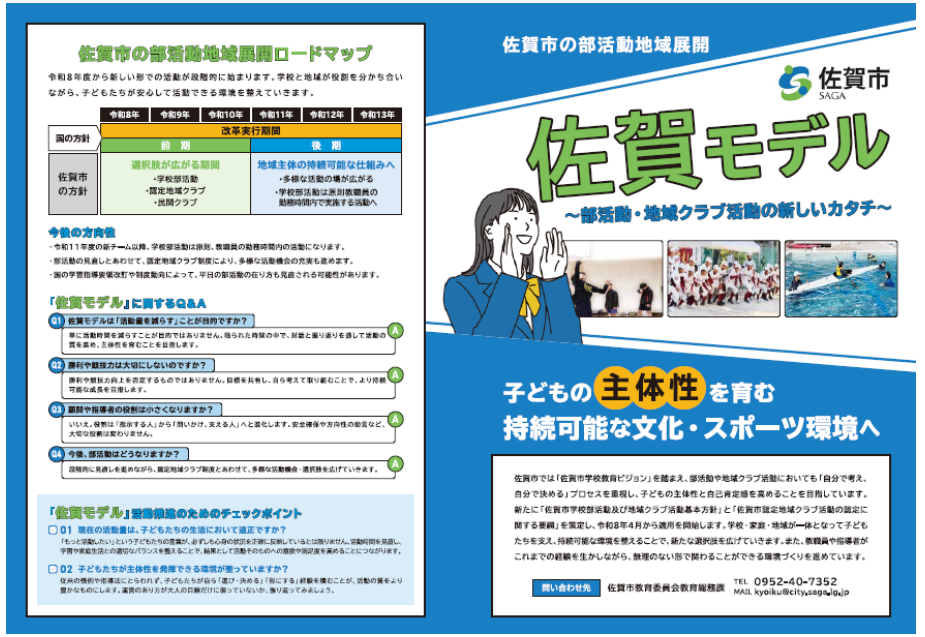
佐賀モデル
◎ 休養日 学校の学期中において、週当たり２日以上の休養日を設定する。この場合、原則として、平日に１日、土曜日及び日曜日のいずれか1日以上を休養日とする。また、休日に大会参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。
◎ 活動時間 １日の活動時間は、長くとも平日では２時間以内、学校の休業日（学期中の週末を含む。）においては原則として３時間以内とし、できるだけ短時間で、合理的かつ効率的・効果的な活動を行う

週当たりの活動時間については、「８時間程度」を目安とし、過度に逸脱しない範囲で、活動の目的や実態に応じた柔軟な運用を認める。
※ 生徒が、学校部活動と認定地域クラブ活動の両方に参加する場合や複数の認定地域クラブ活動に参加する場合等においては、参加する活動全体を通算した週当たりの活動時間を8時間程度の範囲内とする

佐賀市HP 部活動改革ページ
佐賀市学校部活動及び地域クラブ基本方針
佐賀市認定地域クラブ活動の認定に関する要綱

### ②佐賀モデルパンフレット

小学校4～6年生、中学校１・２年生学校から保護者に面談等にて直接配布




### ③各種広報媒体を活用した広報

# 方向性 1 学校部活動としての活動量・内容の見直し（佐賀モデル）

## ②佐賀モデルの周知

令和11年度の新チームより、佐賀市での学校部活動の活動時間が教職員の勤務時間内の活動に原則変わる。現在の小学4年生,5年生,6年生が中学校在籍となる。

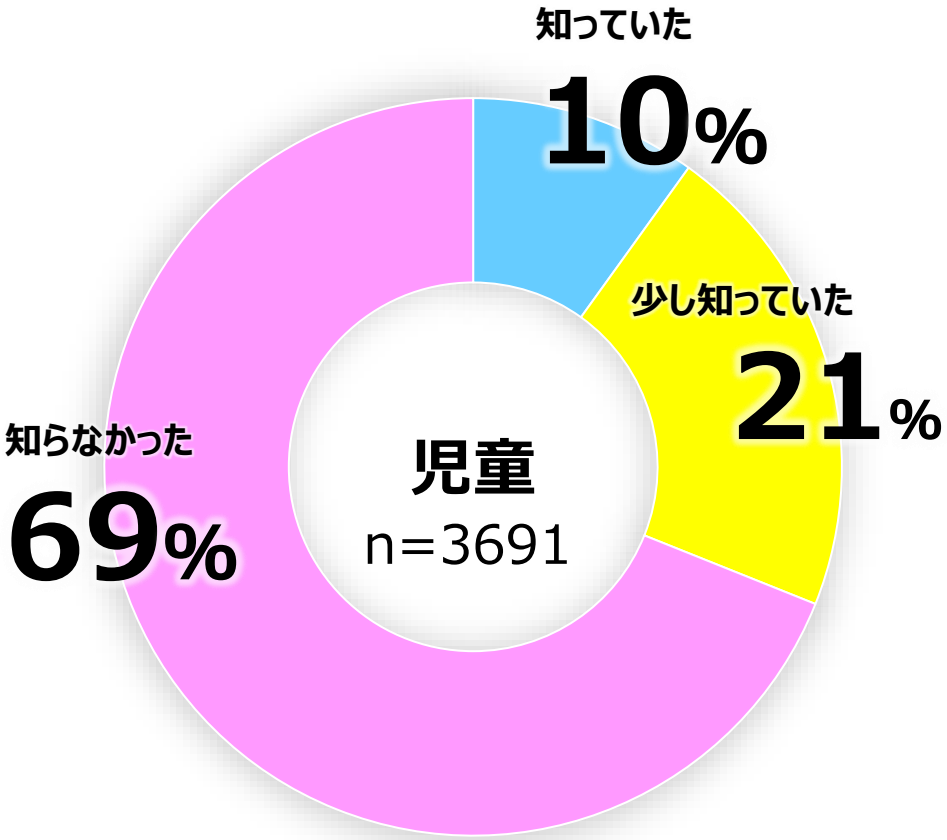
| | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国の方針 | 改革実行期間 | | | | | |
| | 前期 | | | 8 | 後期 | |
| 学年 | 中3 | | | 新チーム | | |
| | 中2 | 中3 | | | | |
| | 中1 | 中2 | 中3 | | | |
| | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 | | |
| | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 | |
| | 小4 | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 |
| | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 |
| | 小2 | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 中1 |

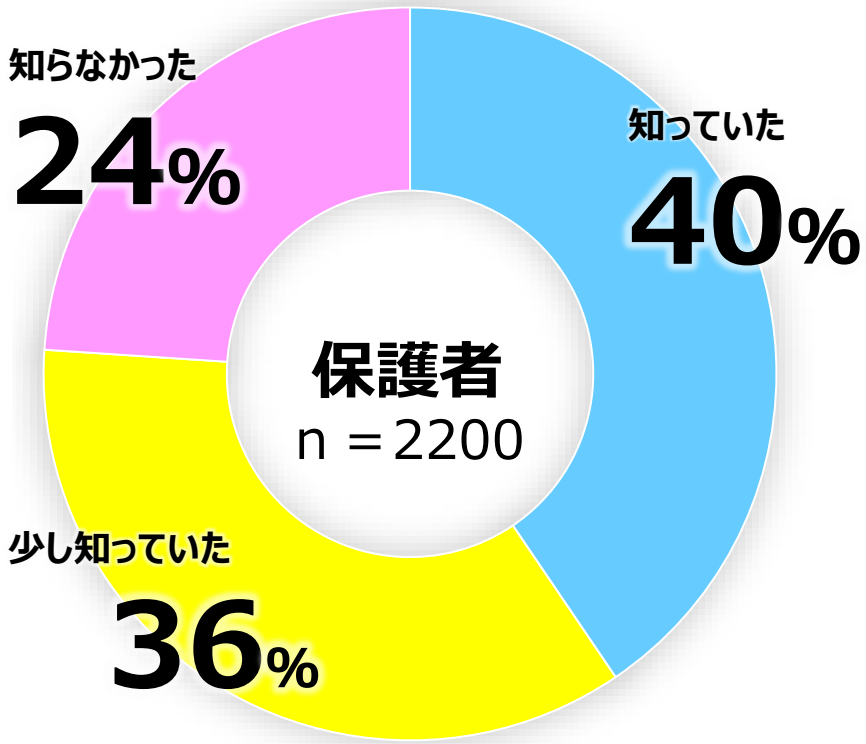
・目的
児童・保護者の現状とニーズの把握

・実施時期：6月～7月
・対象：佐賀市立小学校35校
　　児童（小学4～6年生）・保護者
・回答数：児童3691名、保護者2200名
・回答率：児童60.7%、保護者36.2%

# 方向性 1 学校部活動としての活動量・内容の見直し（佐賀モデル）

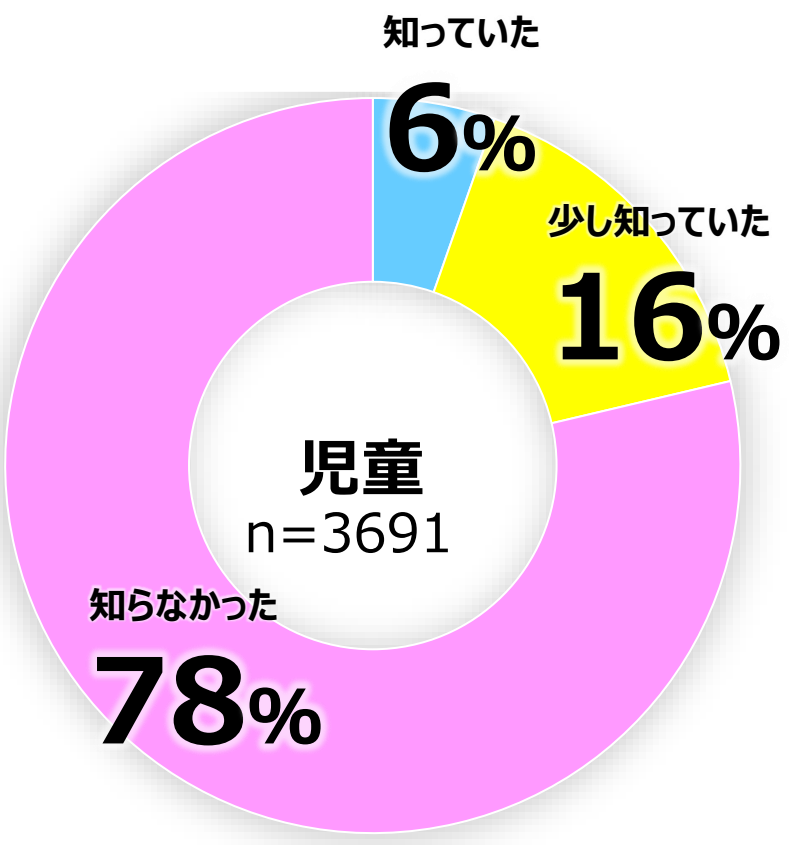
## Q)佐賀市が地域展開を進めていることを知っていますか？

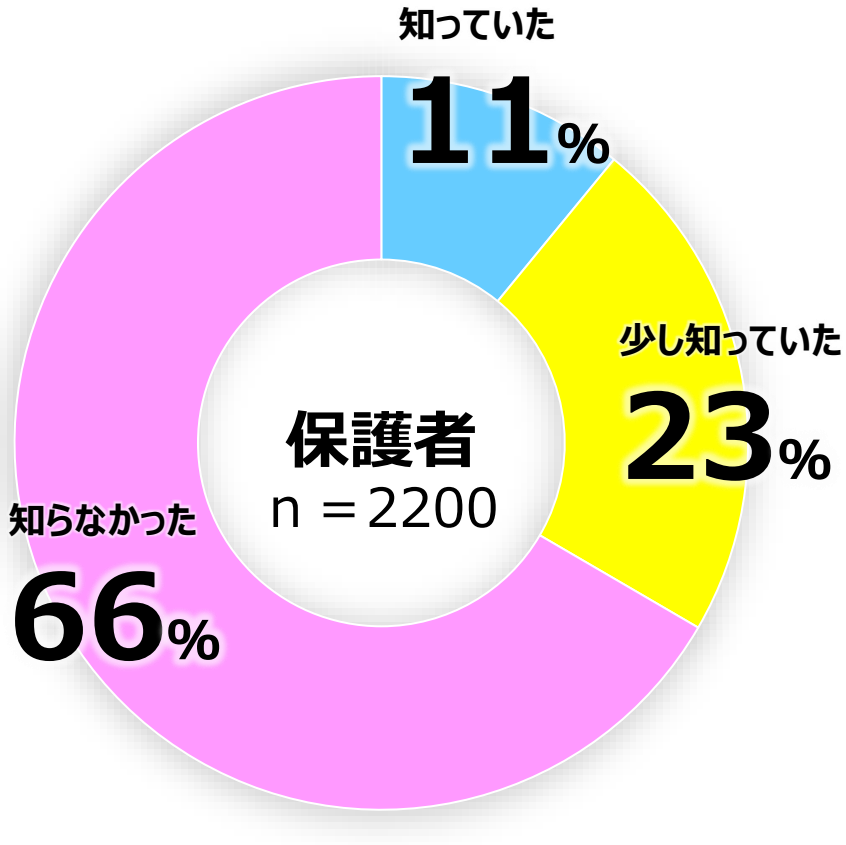


# 方向性 1 学校部活動としての活動量・内容の見直し（佐賀モデル）

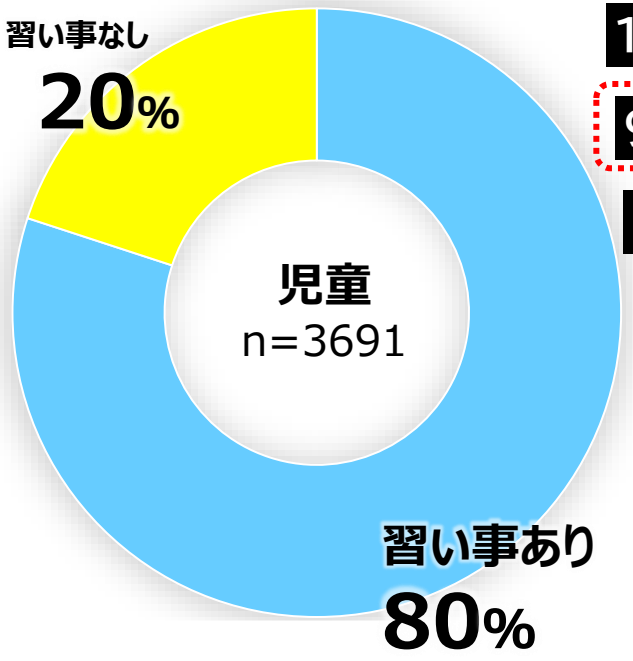
## Q）佐賀モデルを知っていますか？



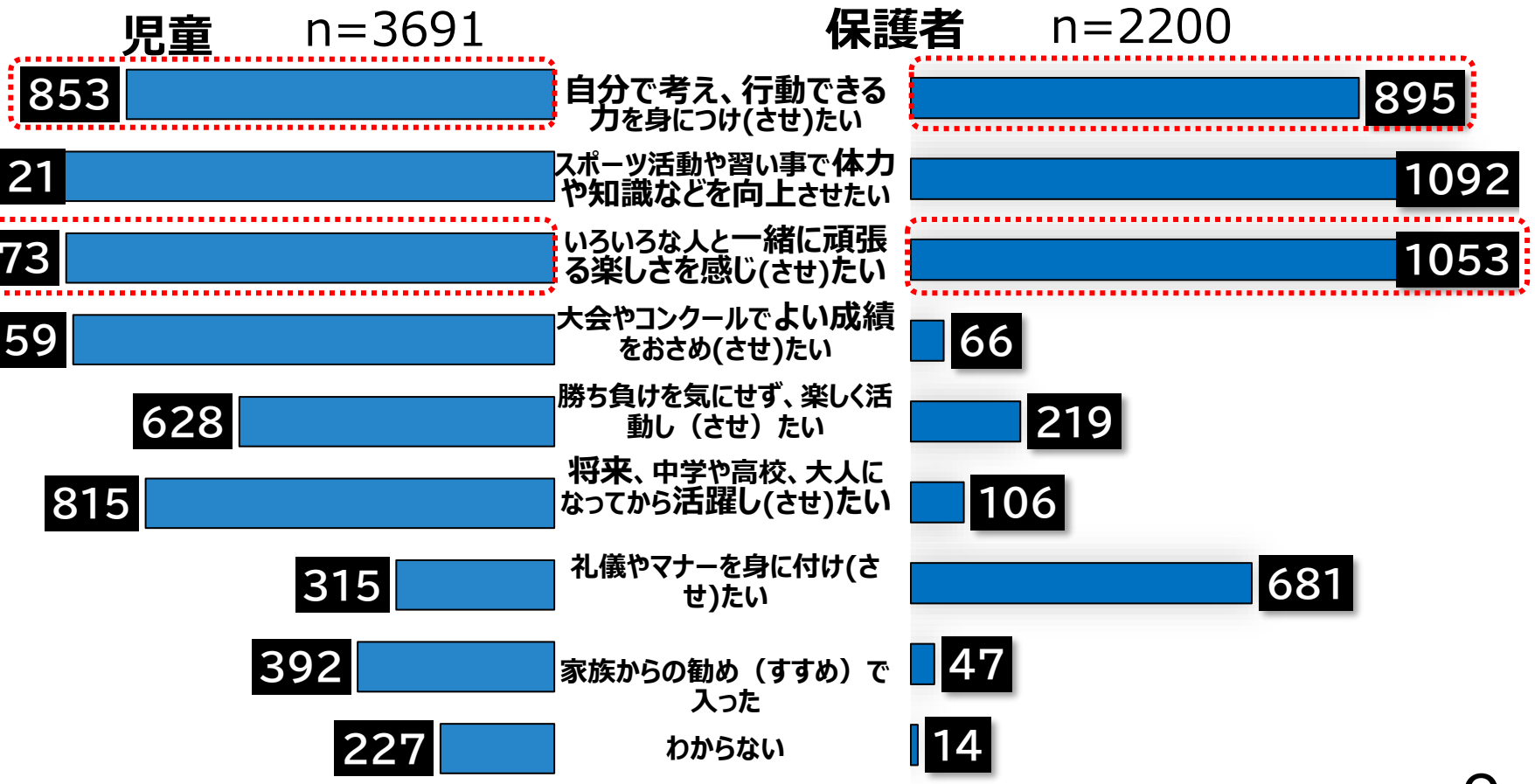



# 方向性 1 学校部活動としての活動量・内容の見直し（佐賀モデル）

■習い事に通っていますか？

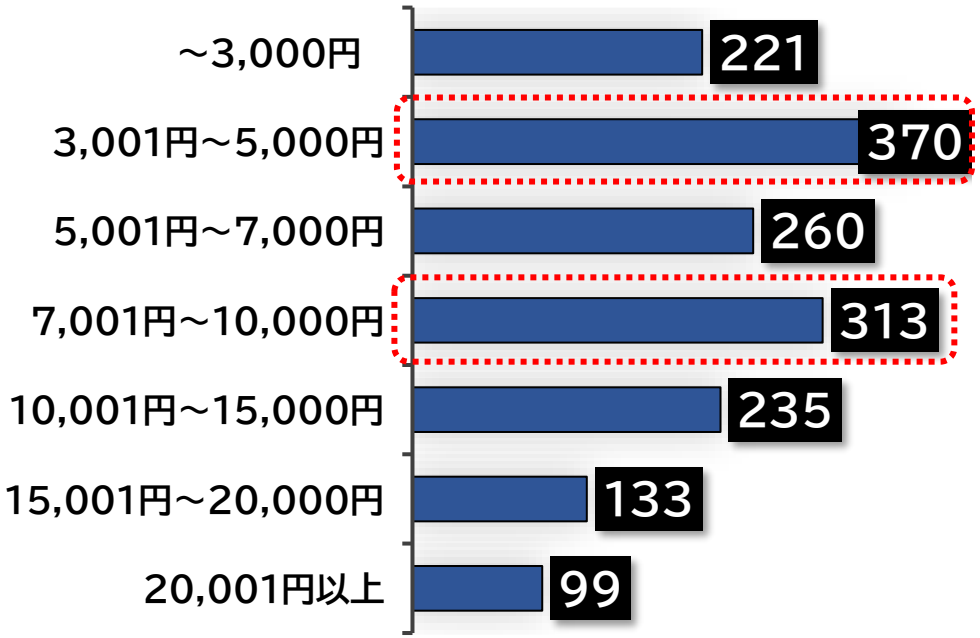



■習い事にどんな気持ちで参加してますか(させていますか）？（３つ回答）

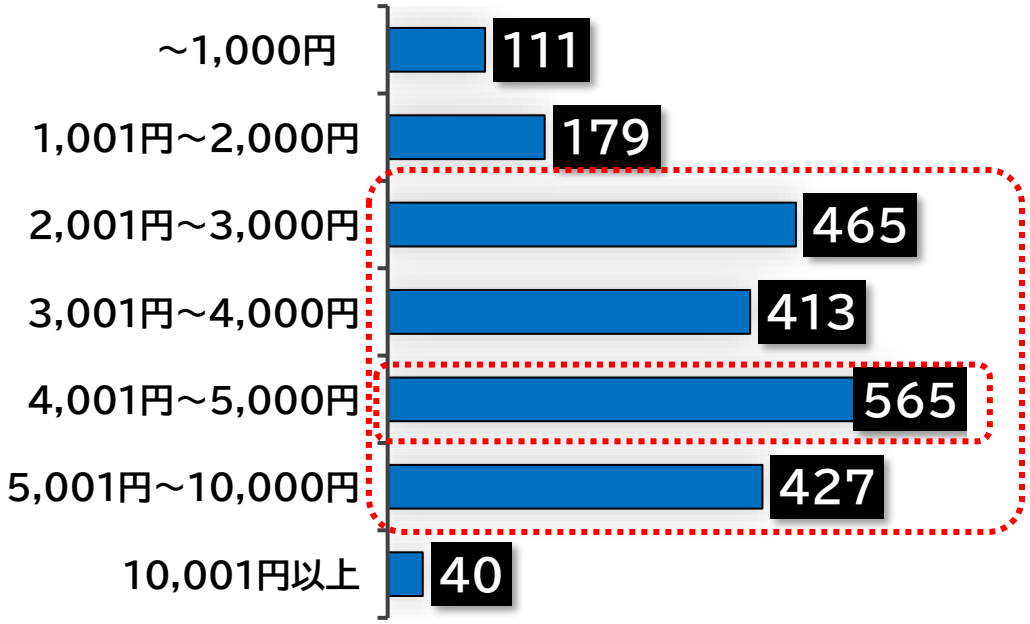


# 方向性 1 学校部活動としての活動量・内容の見直し（佐賀モデル）

■その習い事にかかる費用は
どれくらいですか？



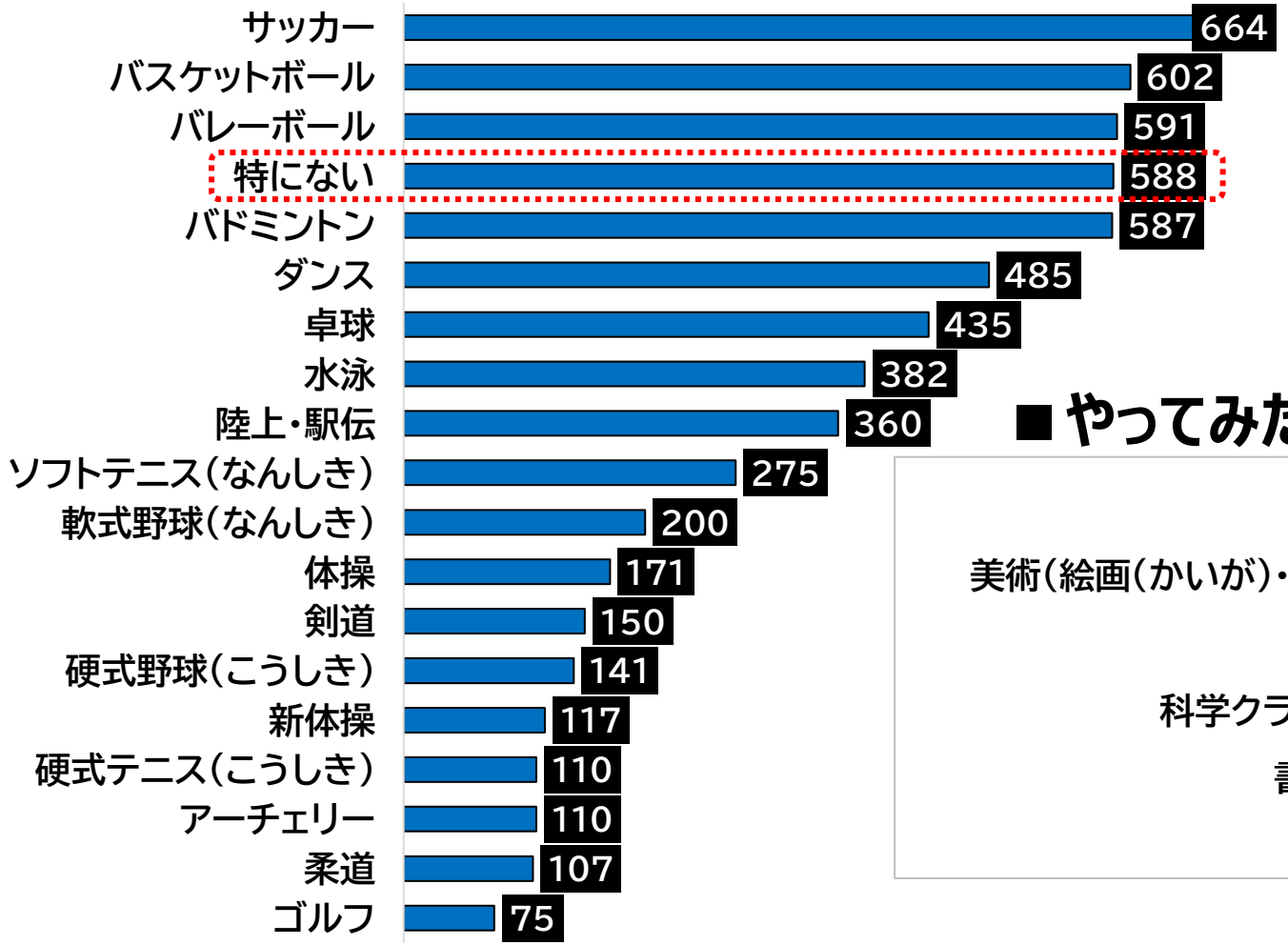

■お子様が中学生になって、地域クラブで活動する場合、
それにかかる費用はどれくらいが妥当だと考えられますか？




保護者　n＝2200

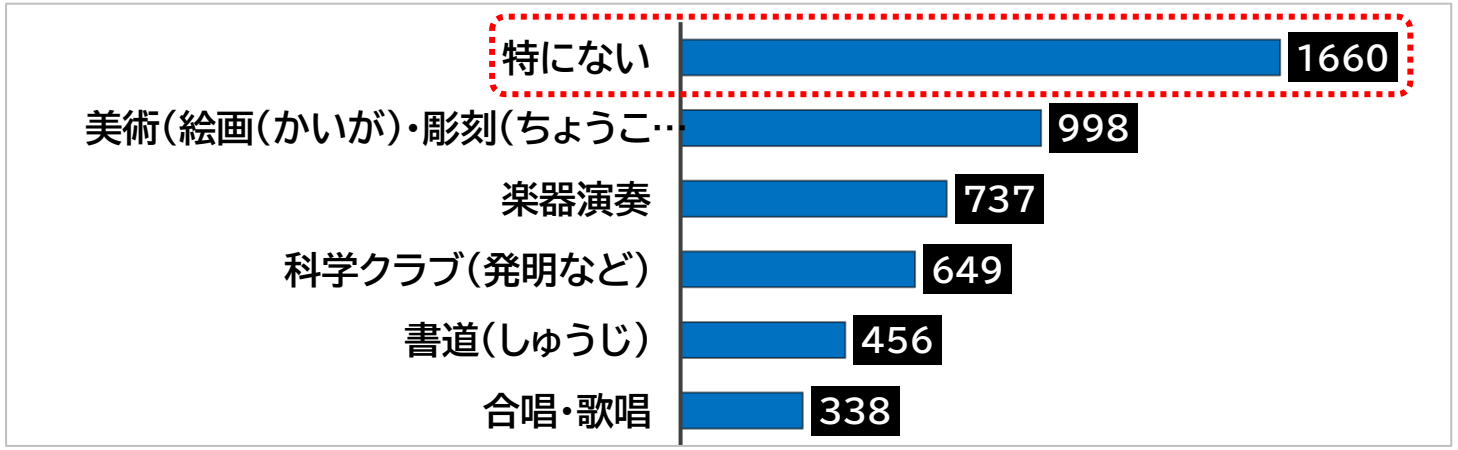
# 方向性 1 学校部活動としての活動量・内容の見直し（佐賀モデル）

## ■やってみたいスポーツは何ですか？



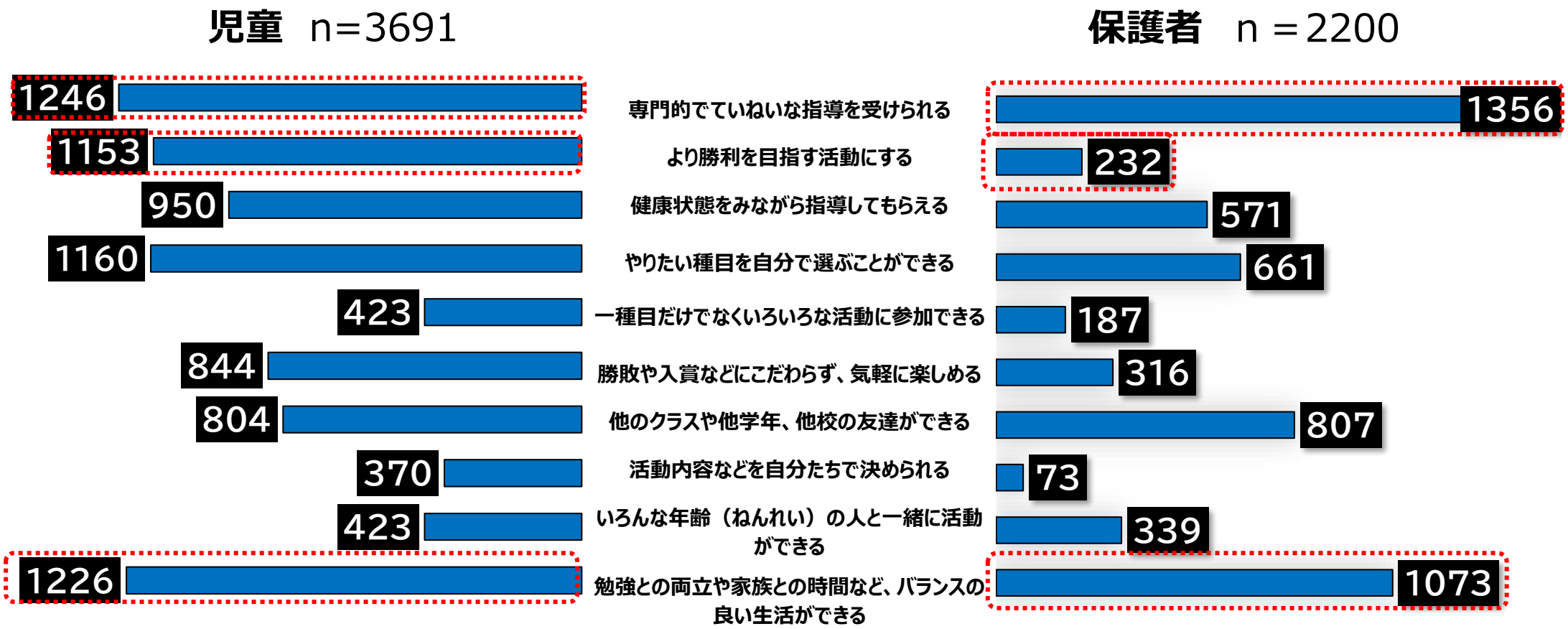

児童 n=3691

## ■やってみたい文化芸術活動は何ですか？



# 方向性 1 学校部活動としての活動量・内容の見直し（佐賀モデル）

## ■活動する中で、満足できる活動とは？（３つ回答）



# 方向性❷地域型クラブの立ち上げ・運営に対する支援（認定地域クラブ）

## 令和8年度　認定地域クラブ登録状況

・申請　14団体　→　認定　14団体（すべて運動系の種目）・申請のための相談　20団体以上

| 申請種目 | 区分 | 申請数 | 認定数 | 学校派生型 |
|---|---|---|---|---|
| バレーボール | 男子１ | 1 | 1 | 1 |
| バスケットボール | 男子２女子２ | 4 | 4 | 2 |
| 卓球 | 男子２ | 2 | 2 | 1 |
| サッカー | 男子１ | 1 | 1 | 1 |
| 軟式野球 | 男子女子３ | 3 | 3 | 2 |
| 新体操 | 女子１ | 1 | 1 | 0 |
| ソフトテニス | 男子１ | 1 | 1 | 1 |
| 剣道 | 男子女子１ | 1 | 1 | 1 |
| 7/29　現在 | | 14 | 14 | 9 |

例

活動時間

バスケットボール

月・金　　：17:00～19:00

木　　：17:00～19:00

土　　：13:00～15:00

活動場所：学校派生型の認定地域クラブは、
その学校もしくはその校区の小学校の場合が多い。

# 方向性2 地域型クラブの立ち上げ・運営に対する支援（認定地域クラブ）

## 認定要件

→認定申請時、申請書類の確認書（7項目22細目）は、**面談にて確認**を行いました。

1.生徒が身近な地域で希望する活動に主体的に参加できるようにすることで,豊かで幅広い活動機会の保障に寄与するものであること
→ **佐賀市に居住する生徒を主な対象とした活動であり,競技力強化等の観点から選抜をしない**



2.適切な活動時間や休養日の設定
→ **佐賀市学校部活動及び地域クラブ活動基本方針の内容に準ずる活動であること(佐賀モデル)**

3.活動の維持・運営に必要な範囲で,可能な限り低廉な参加費の設定
→ **可能な限り低廉な参加費の設定**

4.適切な指導の実施体制が確保
→ **指導者は佐賀県や佐賀市が定める研修の受講義務化**
**「佐賀市認定地域クラブ及び学校部活動指導者研修会（佐賀市教育委員会主催）」**
複数の大人での指導・見守りを行うこと

5.適切な安全体制の確保 → **事前の危機管理確保,スポーツ安全保険などの保険加入必須**

6.適切な運営体制の確保 → **適切な規約(会則),適切な会計管理**

7.学校等との連携 → **活動する生徒が所属する学校等との連携**

# 方向性2 地域型クラブの立ち上げ・運営に対する支援（認定地域クラブ）

## 認定地域クラブヒアリング結果

### 代表・指導者・保護者の声

《活動》
・練習時間がしっかり確保できる。
・保護者が子どもに関わる時間が増えた。
・保護者が他の生徒の良いところを知れた。
・複数の大人が関り、安心して活動できる。
・活動の場を残して、中体連に出場することができた。
《負担》
・時間や金銭の負担が大きい。補助などが欲しい。
・見守りが必ず必要なので、保護者の負担が大きい。（特に平日）
・学校での紹介の場が少ない。
・お金（指導者謝金）にお金がかかる。
・協賛金集めが大変。
・他校区から練習場所への移動が大変。
《その他》
・指導者への報酬を保護者負担で行っているが、部員の数によって変動するため、部員数を増やす手立てを考えている。
・市の施設を優先的に使えたり、減免したりしてほしい。

### 生徒の声

《環境》
・平日は、自分たちで主体的に取組んでいて、楽しい。
・今の活動に満足している。
・特に困っていることはない。
《活動・時間》
・練習時間が短くなると思ったけどそうでもなかった。２　時間で集中してできた。アップの仕方を変えて練習効率をよくした。練習と練習の間を短くして、メリハリをつけるように心掛けた。
・先生の指示ではなく生徒の声掛けで動くように心掛けた。
・週4日活動だ,4日もないときがありもっと練習したい。
・コーチと相談して、自分たちでメニューを決めることができるので、効率が良くなるし、自分たちで考える力が身につく。
・自分の学校では大会に出場できなかったが、クラブで出場することができた。



# 方向性2 地域型クラブの立ち上げ・運営に対する支援（実証事業）

## 1 地域クラブ（軟式野球（新規））

**平日3日・休日1日ベース**

対　象：学校部活動 → 地域クラブ
運営団体：保護者会立クラブ
対象生徒：市内複数校生徒
指導者：地域指導者／兼業教員
場　所：Ａ学校グラウンド

## 2 地域クラブ（バスケットボール(新規)）

**平日3日・休日1日ベース**

対　象：学校部活動 → 地域クラブ
運営団体：保護者会立クラブ
対象生徒：Ａ中生徒
指導者：退職教員／兼業教員
場　所：Ａ中学校体育館

## 3 地域クラブ(ソフトテニス(新規))

**平日3日・休日1日ベース**

対　象：学校部活動 → 地域クラブ
運営団体：指導者立上クラブ
対象生徒：市内複数校生徒
指導者：地域指導者／兼業教員
場　所：Ｂ学校テニスコート

## 4 地域クラブ(サッカー(新規))

**平日3日・休日1日ベース**

対　象：学校部活動 → 地域クラブ
運営団体：保護者会立クラブ
対象生徒：市内複数校生徒
指導者：地域指導者／退職教員／兼業教員
場　所：Ｃ中学校グラウンド

# 方向性❸多様なクラブ・スクールへの生徒参加の円滑化

## ⑦多様な選択肢の創出と“見える化”

### ▶多様な選択肢の創出

→受け皿の拡充

### ▶選択肢の見える化

→佐賀市認定地域クラブ一覧表　（HP掲載予定）

# 参考資料１　部員数や部活動数の推移

| | R5 | R6 | R7 | R8 |
|---|---|---|---|---|
| 生徒数 | 5,554 | 5,555 | 5,519 | 5,472 |
| 部員数 | 3,953 | 3,823 | 3,740 | 3,497 |
| 運動部員 | 3,187 | 3,042 | 2,913 | 2,717 |
| 文化部員 | 766 | 781 | 827 | 780 |
| 加入率 | 71.2% | 68.8% | 67.8% | 63.9% |
| 部活動数 | 187 | 183 | 179 | 173 |
| 運動部数 | 157 | 155 | 151 | 145 |
| 文化部数 | 30 | 28 | 28 | 28 |
| 合同部活 | 3 | 4 | 6 | 5 |
| 拠点校部活 | 1 | 2 | 3 | 3 |

・部活動数が減り加入率の減少がみられる。
・認定地域クラブの創設１４クラブ（R8）

# 参考資料２　各種支援制度

## 佐賀市教育委員会

### ▶佐賀市各種大会出場補助金

学校部活動、佐賀市認定地域クラブ対象

## 佐賀市スポーツ振興課

### ▶少年スポーツ指導者資格取得費補助金

クラブにおける指導者の”充実”

### ▶佐賀市総合型地域スポーツクラブ設立支援補助金

総合型地域スポーツクラブの”充実”

### ▶佐賀市小中学生各種スポーツ大会等出場激励金

社会体育においても大会出場に係る激励金を受け取れる”充実”

### ▶各種講話

各クラブにおける部活動改革への理解促進による”充実”

# 参考資料３　佐賀市学校部活動及び地域クラブ活動基本方針

○　佐賀市部活動地域展開の基本理念

## 健全で 持続可能な「教育環境」「文化・スポーツ環境」を創造する

○　目指す姿

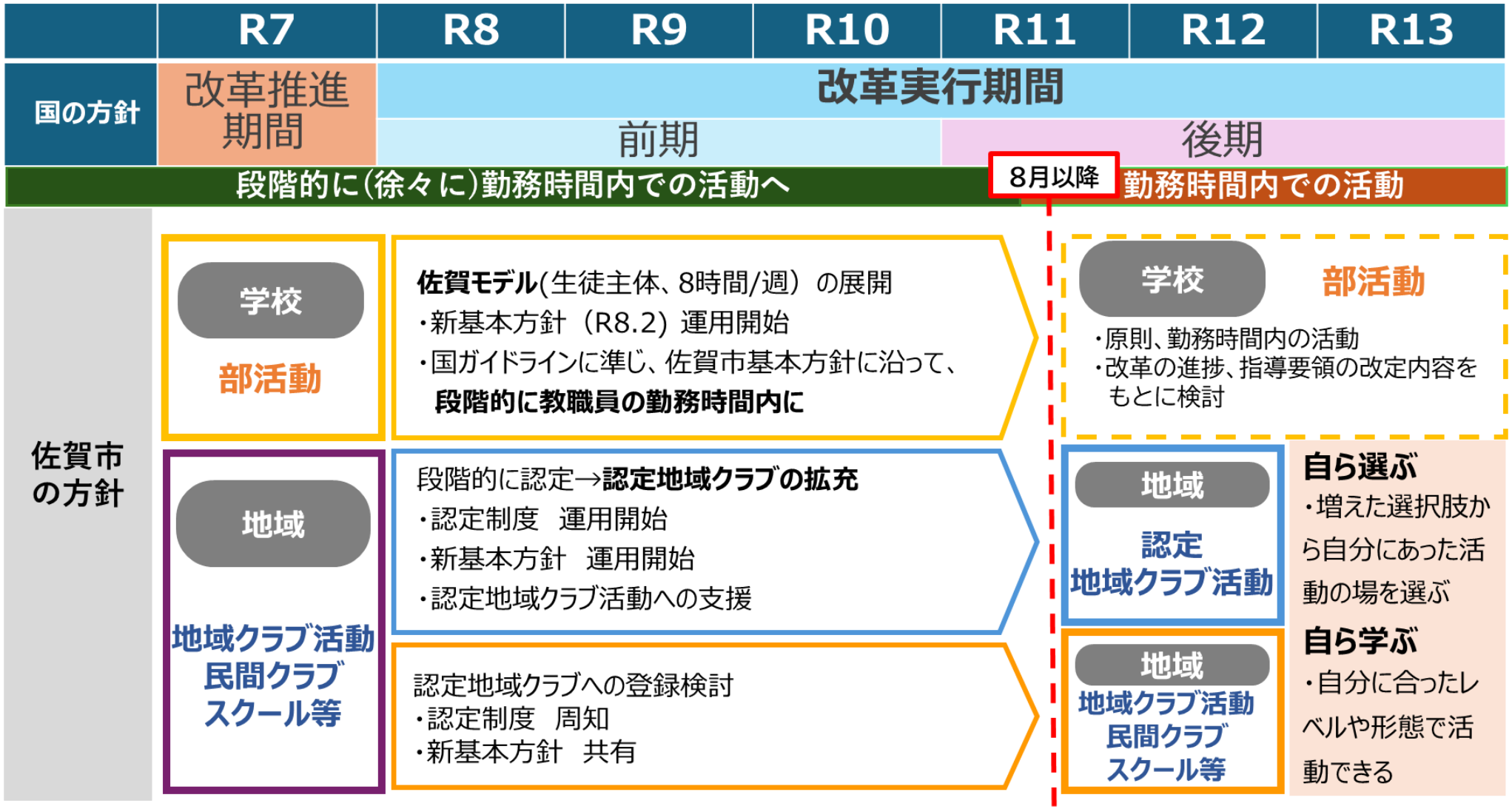
・生徒が、増えた選択肢の中から自分に合った活動の場を主体的に選び、納得感と責任をもって活動に関わることができること。

・指導に関わる教職員については、改革の進展に伴い、意欲や専門性を尊重した関わり方が可能となり、生徒にとって望ましい指導環境の確保と、教職員の業務負担への配慮が両立した、持続可能な教育環境が実現していくこと。

・地域の指導者や団体が、学校部活動の課題をそのまま引き受けるのではなく、役割や負担が整理された形で活動に関わり、無理のない継続的な運営が可能となっていること。

# 参考資料３　佐賀市学校部活動及び地域クラブ活動基本方針

## ○ ロードマップ



# 参考資料４　佐賀市認定地域クラブ活動の認定に関する要綱

認定要件

一　学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させた活動であり、生徒が身近な地域で希望する活動に主体的に参加できるようにすることで、豊かで幅広い活動機会の保障に寄与するものであること

二　適切な活動時間や休養日が設定されていること

三　活動の維持・運営に必要な範囲で、可能な限り低廉な参加費等が設定されていること

四　適切な指導の実施体制が確保されていること

五　適切な安全確保の体制が確保されていること

六　適切な運営体制が確保されていること

七　学校等との連携が適切に行われていること